

NC1/1.5用メタルゲージキット NC用ステンレスクラスターベゼル NC用クラシックニードルキャップ 共通セッティングマニュアル

取付サポートダイヤル **052-269-9071**
(受付時間 9:00-18:00)

はじめに

この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
当製品のクオリティを最大限活かすためにも、是非このマニュアルをご熟読の上で
作業下さいますようお願い致します。

製品内容

- | | |
|----------------|-------------------|
| NC2/NC3用ゲージパネル | NCニードルキャップ(オプション) |
| ●ゲージパネル本体 | ●キャップ本体(大2ヶ、小3ヶ) |
| ●拡散シート | ●固定用ゲルシール |
| | ●レッド指針化フィルム(別売) |

取付に必要な工具類

- プラスドライバー
- 保護用布(タオル等)

安全上のご注意

- 取付に際しまして、工具等をご使用の際には怪我などに十分ご注意下さい。
- 当製品には鋭利な箇所が部分的にございます。取扱いは十分ご注意下さい。
- 交換作業は全て自己責任にてお願い致します。
- 作業中・作業後、また製品使用中に生じる事故・損害において、弊社では一切の責任を負いかねます。

RSプロダクツ事業部

名古屋市中区大須3-1-36-6F TEL:052-269-9071z
E-mail: RS_products@hotmail.com URL: http://rs-products.info

1 メーターユニットの取り外し



1-1: コラムカバーの取り外し
ステアリングコラム底部にある3ヶのビスを外します。



コラムカバーを上下に分割して外します。
チルト機構を積極的に利用すると、簡単に分割できます。



上側は完全に外れますが、下側はケーブルが繋がっているためぶら下げた状態になります。
無理な力を加えて断線してしまわないようにご注意下さい。



1-2: アンダーカバーの取り外し
アンダーカバーを手前に引いて外します。
ビス固定ではなくクリップ式ですので引き抜くだけで外れます。



1-3: メーターフードの取り外し
メーターフード前側両端を持ち、やや斜め上方向手前に引き抜きます。
ここもビス固定ではなくクリップ式ですので簡単に外れます。



1-4: メーターユニットの取り外し
上部中央に1ヶ所、下部両端に2ヶ所それぞれビスがあるので外します。



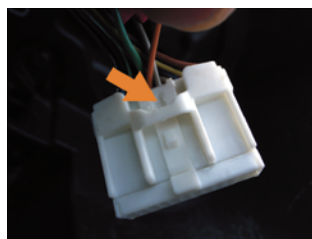
※下部の2本は、黒いラバー製カバーの裏側にあり、上方向にそれぞれ締められています。



メーターユニットは上部中央のヒンジに固定されています。下から手前方向に持ち上げることでこのヒンジから取り外せます。
※この後、裏側のコネクタ類を外す際に、メーター前面のパネルを下側に倒すことになるため、傷がつかないようにコラム上にタオルを敷いておくことをお奨めします。

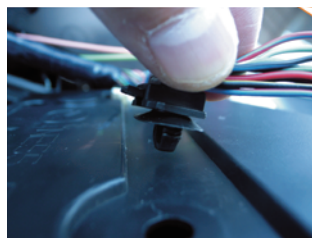


1-5
裏側左右に接続されているコネクタをそれぞれ外します。
マイナスドライバー等を用いて爪を押し込んで外します。爪の位置と形状は次の写真をご参考下さい。



※矢印部分を押して爪を解除します。

! 2つのコネクタはしっかりと固定されているため、外すのにやや力が要ります。しかし無理な力を加えると断線する恐れがあるので、写真を参考にコネクタの爪位置をよく把握した上で慎重に作業して下さい。



1-6
両コネクタからの配線を束ねている黒い樹脂部品をメーターユニットから外します。
クリップ式ですので引き抜けば外れます。
断線にはくれぐれもご注意下さい。

ここまででメーターユニットが外れました。
ここから先は室内での卓上作業をお奨めします。

2 メーターユニットの分解とパネルのセッティング



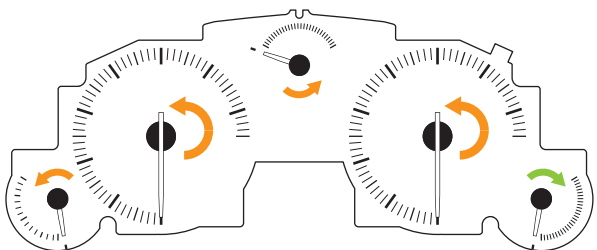
2-1: メーターユニットの分割
メーターユニット裏側の4ヶ所のビスを外し、爪を解除しながらユニットを分割します。写真のように「背面パネル」・「メーター本体」・「クラスター」の3パーツに分割します。
ステンレスクラスターベゼルの単体交換の場合、ここで交換します。

! 指針を外す前に…

車体から外し、無通信状態のメーター指針の位置を確認しておいて下さい。速度計および回転計はゼロを指しています(ゼロよりマイナス方向には動かないようになっています)。
それ以外の指針小(3ヶ)はともにゼロよりマイナス方向に振れており、その指針の先がデフォルトマークを指していることをご確認ください。デフォルトマークよりマイナス方向には動かないようになっています(後に指針を再装着する際に、ここがポイントになってきます)。

2-2: 指針の取り外し

全ての指針を取外します。工具は使用せず、以下にご案内する通り「針を回転させる」ことにより簡単に取外すことができます。
●水温計以外の指針: 反時計回り (→) に20~30周ほど回転させます。
●水温計の指針: 時計回り (→) に20~30周ほど回転させます。



回転させていくうちに、徐々に指針が浮いてくることが確認でき、ある程度のところまで浮いた時点で指で簡単に外すことができます。この際、指針が刺さっている回転軸ごと引き抜いてしまわないようにご注意下さい(20~30の回転で足りない場合はさらに10~20周ほど回転させて下さい)。

万が一、回転軸(芯)ごと抜けてしまった場合は一旦そこで作業を止め、サポートダイヤルまでお電話をお願いします。RSプロダクツでは、この芯抜け事例の復旧方法を準備しておりますのでご安心ください。

なお、サポートダイヤルに繋がりにくい場合は右下のQRコードからメッセージを残してくださいますところから折り返しご連絡を差し上げます。

その際には
1.ご氏名
2.折り返し連絡先の携帯電話番号
3.車種(NCもしくはND)

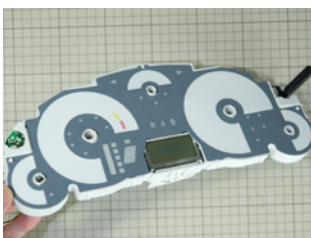


を明記くださいますようお願いいたします。

この工程は動画でもご紹介しております。
www.rs-products.info/movie/

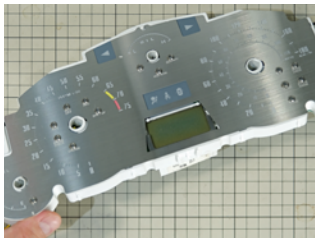


2-3: 純正パネルの取り外し
純正の表示盤を外します。
各指針部周囲の爪に掛かっている状態ですので「剥がす」要領で外します。



2-4: 拡散シートの装着
裏面の保護フィルムをはがし、拡散シートをセットします。必なお、ステンレスクラスターを同時装着の方は、光量確保のため点線跡に沿って該当箇所をカットしてから装着してください。





2-5: メタルゲージの装着
ゲージパネルをセットします。位置合わせをし、乗せるだけでOKです。曲がりやすいため作業中のお取扱いには十分にご注意下さい。



2-6: 指針の再装着①
速度計と回転計に指針を再装着します。写真のように指針をおよそ時計の「4時」の位置に仮差しします。指針軸部分が盤面に干渉しないよう、深く差し込みすぎないようにご注意ください。

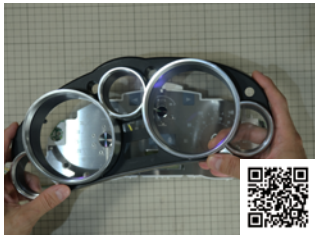


2-7: 速度計・回転計の調整
指針を外した時と同様に反時計回りに回転させて、「0」の位置に合うように調整します。1回で調整できない場合はもう一周回して調整して下さい。速度計・回転計ともに同じ方法で調整します。指針が各パイロットランプと干渉しないよう差し込み深度にご注意ください。



2-8: 燃料・油圧・水温計の調整
燃料計・油圧計・水温計についてはゼロ位置よりマイナス方向に示したデフォルト位置のマークに合わせて差します。燃料計・油圧計は反時計回りで調整し、**水温計のみ時計回りで調整します。**

上記の一連の工程は動画でもご紹介しております。



2-9: ユニットの再組み立て
2-1の逆手順でユニットを組み立てます。
※別売りオプション「ステンレスクラスターベゼル」を同時装着の場合、ここで純正クラスターと交換します（「ステンレスクラスターキット」をお買い上げの方は左のQRコードから該当の説明書をご参照ください）。

以上でメーターの加工は終了です。ここから先は車内に戻ります。



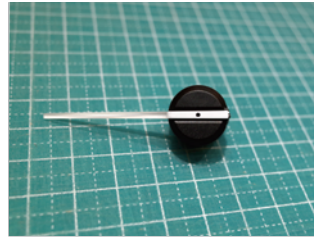
2-10: メーターユニットの固定
1-6から逆手順でメーターユニットを固定します。

以上で完成です。
お疲れさまでした。

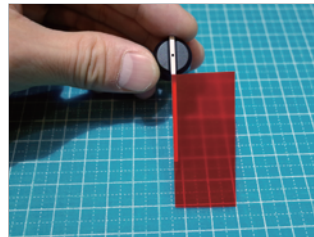
取付サポートダイヤル **052-269-9071**

(受付時間 9:00-18:00)

レッド指針化フィルムの施工



①
フィルムを貼り付ける前に指針をしっかりと脱脂して下さい。



②
写真のようにフィルムの端を指針の端のラインに沿って貼り付けます。次の工程で剥がれてしまわないようにしっかりと圧着して下さい。



③
指針を裏返し、反対側のラインに沿ってカッターの刃を当ててカットします。

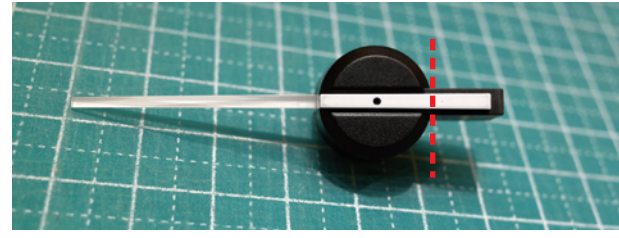


④
先端を切り落として完成です。



⑤
指針小(3ヶ)も同様に施工して下さい。

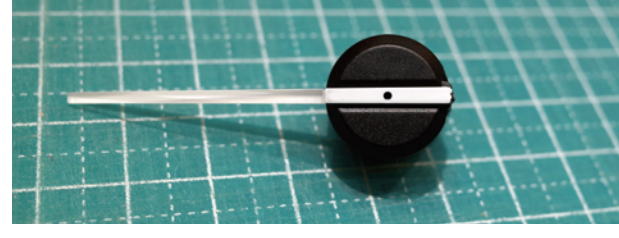
ニードルキャップの取付け



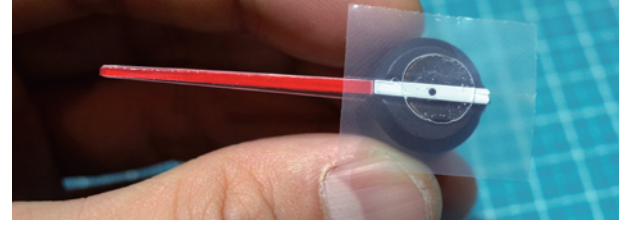
①
2-2の工程で全ての指針が外れたら、それぞれにキャップを取付けます。



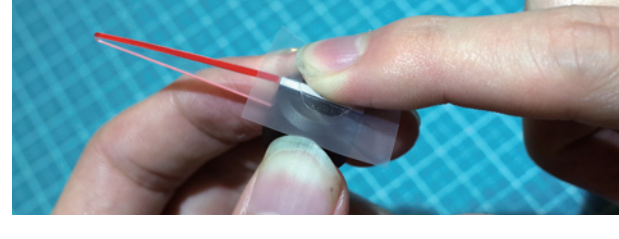
指針大(2ヶ): 指針後端部分をニッパーで切除します。



②
付属のゲルシールを指針の天面に貼り付けます(透明の剥離フィルムはまだ剥がしません)。



剥離フィルム越しにゲルシールを天面部分に擦り付ける要領で圧着します。



③
剥離フィルムをゆっくりと剥がし、キャップを被せて固定します。指針小(3ヶ)も大指針と同じ要領でゲルシールを使用してキャップを被せて固定します。この後、2-8の工程に戻して下さい。

